

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL <https://www.ksk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 川辺 恭輔 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,567	7.7	962	0.4	995	0.9	721	1.0
2023年3月期第2四半期	9,808	10.4	958	25.3	986	14.8	714	25.4

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 763百万円（8.8%） 2023年3月期第2四半期 701百万円（12.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	120.86	117.83
2023年3月期第2四半期	119.73	117.02

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	20,290	15,111	73.3	2,488.34
2023年3月期	20,173	14,793	72.3	2,441.29

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 14,867百万円 2023年3月期 14,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	86.00	86.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	7.6	2,260	1.6	2,320	1.2	1,710	7.6	286.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	7,636,368株	2023年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,661,605株	2023年3月期	1,663,605株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	5,974,009株	2023年3月期2Q	5,969,483株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、社会経済活動の正常化が進み、内需の拡大と成長の兆しが見えつつあります。一方、ウクライナ情勢の長期化、東アジアや中東の地政学リスクの高まり等に伴う、原材料価格の高騰、エネルギー価格の不安定さに加え、世界的な金融引き締めを背景とした景気後退の懸念等、景気の先行きは依然として不透明かつ流動的な状況が続くものと思われま

当社グループが属する情報サービス産業界におきましては、企業の事業改革や働き方改革を促進しているDX（デジタル・トランスフォーメーション）に関わる、IoTや5G、クラウドコンピューティング、AI関連市場等の拡大に加え、ハードウェアとソフトウェアの融合などがダイナミックな変革をもたらしています。また、「標的型攻撃」に代表されるサイバー攻撃への防衛策等、情報セキュリティ対策の重要性も一層高まっております。

このような環境の中、当社グループでは、デジタル技術の進化が加速する市場において、技術の知識と経験を兼ね備えた人材を確保すべく、報酬水準の見直し、就労環境の改善等、人的資本の拡充を進めてまいりました。また、新卒新入社員に対し5ヶ月にわたる基礎教育を実施する等、市場に柔軟かつ的確に対応できる人材の育成に向けた成長投資も積極的に行っております。これら人的投資によって培われた高い技術力をもって提供する付加価値の高いサービスにより、利益率の向上に努めてまいりました。さらに、持続的な事業発展には欠かせない新卒社員等の採用活動につきましても積極的に推進しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,567百万円で前年同期比759百万円（前年同期比7.7%増）の増収となりました。利益面では、一部プロジェクトの収益改善や、成長分野へのシフト等により、売上総利益は2,516百万円で前年同期比332百万円（同15.2%増）の増益となりました。一方、販売費及び一般管理費のうち、採用活動や研修・教育、エンゲージメント向上等の人的資本拡充に向けた積極投資が前年同期比222百万円増加（同55.2%増）したこと等から、営業利益につきましては962百万円で前年同期比3百万円増（同0.4%増）となりました。経常利益につきましては995百万円で前年同期比8百万円増（同0.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては721百万円で前年同期比7百万円増（同1.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

今後成長が期待されるイメージセンサーなどの半導体分野並びに組込ソフトウェア開発の受注が伸長しております。医療装置の設計開発業務に関しても、より上流工程を担う等、引き続き堅調に推移している一方、半導体市況の回復の遅れ等から、売上高は1,838百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は474百万円（同5.4%増）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

スマートデバイス検証サービスや自社開発したパッケージソフトウェアの受注が引き続き伸長しております。その他システム開発、モバイルアプリ開発案件も契約条件の改善が進み、堅調に推移していること等から、売上高は2,602百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は597百万円（同34.5%増）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

ネットワーク新規構築や運用・保守業務、情報セキュリティ関連など、企業や官公庁等の旺盛な需要に対し、受注機会を的確に捉え対応できるよう積極的に人材投資を行っております。その結果、売上高は6,126百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は1,187百万円（同9.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は11,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ248百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が58百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が172百万円、有価証券が99百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は8,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ366百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が249百万円、投資その他の資産のその他に含まれる敷金及び保証金が74百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は20,290百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,326百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる預り金が112百万円増加した一方で、賞与引当金が261百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税が107百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は1,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が25百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は5,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ201百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、15,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ318百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が244百万円、その他有価証券評価差額金が41百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し4,565百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、821百万円の収入（前年同期は988百万円の収入）となりました。これは主に法人税等の支払314百万円、賞与引当金の減少261百万円等の減少要因があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上995百万円、売上債権の減少172百万円、営業活動によるキャッシュ・フローのその他に含まれる預り金の計上112百万円等の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、288百万円の支出（前年同期は1,111百万円の支出）となりました。これは主に有価証券の償還による収入2,600百万円等の増加要因があった一方で、有価証券の取得による支出2,200百万円、投資有価証券の取得による支出604百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、474百万円の支出（前年同期は458百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払による支出476百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月28日付「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,707	4,765
受取手形、売掛金及び契約資産	4,736	4,563
有価証券	2,101	2,001
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	189	155
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,734	11,485
固定資産		
有形固定資産	567	623
無形固定資産	93	85
投資その他の資産		
投資有価証券	6,406	6,656
その他	1,371	1,439
投資その他の資産合計	7,777	8,096
固定資産合計	8,439	8,805
資産合計	20,173	20,290
負債の部		
流動負債		
買掛金	239	232
未払法人税等	360	313
賞与引当金	1,744	1,482
工事損失引当金	0	1
その他	1,210	1,297
流動負債合計	3,555	3,326
固定負債		
退職給付に係る負債	1,572	1,597
資産除去債務	63	65
その他	188	188
固定負債合計	1,824	1,851
負債合計	5,379	5,178
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,670	1,670
利益剰余金	12,471	12,715
自己株式	△1,166	△1,165
株主資本合計	14,423	14,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	366
退職給付に係る調整累計額	△167	△168
その他の包括利益累計額合計	157	197
新株予約権	206	237
非支配株主持分	5	7
純資産合計	14,793	15,111
負債純資産合計	20,173	20,290

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,808	10,567
売上原価	7,623	8,050
売上総利益	2,184	2,516
販売費及び一般管理費	1,225	1,554
営業利益	958	962
営業外収益		
受取利息	17	24
受取配当金	4	5
その他	5	2
営業外収益合計	27	32
営業外費用		
その他	0	—
営業外費用合計	0	—
経常利益	986	995
特別利益		
受取保険金	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	986	995
法人税等	270	271
四半期純利益	716	723
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	714	721

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	716	723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	41
退職給付に係る調整額	16	△1
その他の包括利益合計	△14	39
四半期包括利益	701	763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	700	761
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	986	995
減価償却費	40	46
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△261
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	42	23
受取利息及び受取配当金	△22	△30
助成金収入	△0	△0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	82	172
棚卸資産の増減額 (△は増加)	0	0
仕入債務の増減額 (△は減少)	36	△6
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△29	△107
その他	149	267
小計	1,292	1,099
利息及び配当金の受取額	26	36
助成金の受取額	0	0
法人税等の支払額	△332	△314
法人税等の還付額	1	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	988	821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,200	△2,200
有価証券の償還による収入	2,400	2,600
有形固定資産の取得による支出	△31	△88
無形固定資産の取得による支出	△31	△14
投資有価証券の取得による支出	△1,313	△604
投資有価証券の償還による収入	100	100
その他	△35	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	△288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	—	1
配当金の支払額	△457	△476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△458	△474
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△580	58
現金及び現金同等物の期首残高	5,141	4,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,561	4,565

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,812	2,325	5,670	9,808
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	1	3
計	1,812	2,327	5,671	9,811
セグメント利益	450	444	1,087	1,982

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,982
セグメント間取引消去	58
全社費用（注）	△1,081
四半期連結損益計算書の営業利益	958

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,838	2,602	6,126	10,567
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	2	5
計	1,838	2,605	6,129	10,572
セグメント利益	474	597	1,187	2,259

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,259
セグメント間取引消去	58
全社費用（注）	△1,355
四半期連結損益計算書の営業利益	962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。